

CROSS TALK



伝統と革新の空間で科学と自然とアートをつなぐ。

「科学と芸術の丘」を立ち上げた清水陽子氏とディレクターを務める関口智子氏が、アート、そして松戸への想いを語る。

清水「ニューヨークなどで多彩なクリエイティブプロジェクトに関わる中で、アーティストたちが自分たちの力で魅力ある街をつくっていく過程を見て、すごくクールだなと感じていました。それで私も、自然と調和した場所で最先端の科学と融合した芸術表現をやりたいと考えていたところ、松戸にはクリエイティブな人たちが結構いることを知りました。」

関口「『先進的な試みを実験的にしながらクリエイティブな発想を活かし、なおかつ自然と調和した、持続可能なコンセプトのフェスティバルをやったら面白い人が集まるのではないか』という清水さんの考えに共感し、ディレクターとして科学と芸術の丘に参加しました。」

清水「私が科学と芸術の丘で大事にしているのは、難しいことを考えなくても、この現象が美しいと感じたり、何かインスピレーションになったり、あるいは疑問を持ってもらうようなきっかけをつくることです。」

関口「私は、『丘のマルシェ』の当初の企画意図のように、『たまたま来たらアートに出会う』という仕組みを大切にしています。また同時に、街の方でもテーマに合わせた企画を実施してもらうなど、皆でこの芸術祭をつくっていくことを大切にしています。」

SHIMIZU Yoko

清水 陽子

PROFILE

アルスエレクトロニカ・フューチャラボのクリエイティブ・ビジネス・イノベーション統括。生物学と化学のバックグラウンドを持つ主要研究者でありアーティストでもある。科学と芸術を融合した革新的な技術やインスタレーションを開発。クリエイティブな街づくりや都市開発のプロジェクトにもディレクターやアドバイザーとして参画している。

SEKIGUCHI Tomoko

関口 智子

PROFILE

「科学と芸術の丘」総合ディレクター。一般社団法人ゼロファクトリアル代表理事。前職でサイトやWebコンテンツ等のディレクターとしてプロジェクトマネジメントの経験を積んだ後、「表現をする人」を応援したいというモチベーションから独立。科学と芸術の丘のイベント運営に携わるomusubi不動産にプロジェクトマネージャーとして参画している。



THE
ART
city
MATSUDO

FEATURE #01

科学と芸術の丘

Matsudo International Science Art Festival



◀公式ホームページ

かつて宿場町として栄えた松戸には、古くから新しいことを取り入れていく自由な雰囲気があり、市外から訪れる人を受け入れる寛容さもあります。それは、グローバルな感性を持ち幕末の激動の時代を生き抜いた水戸藩最後の藩主・徳川昭武が築いた文化でもあります。そんな歴史的背景を持つ松戸市で、2018年に国際フェスティバル「科学と芸術の丘」が初めて開催されました。科学と芸術の丘は、クリエイティブな活動を実践するメンバーや世代を超えた市民が主体となり、創造性豊かな「クリエイティブ・シティまつど」を目指す松戸市とともに立ち上げたフェスティバルで、徳川昭武が建てた戸定邸をメイン会場として、毎年開催しています。オーストリア・リンツに拠点を置く世界的なメディアアートの文化機関「アルスエレクトロニカ」の協力も得て、共にキュレーションした国内外のアーティストによる作品展示等がされています。他にも毎年違うテーマのもと、トーク・ワークショップ・マルシェなど多彩なプログラムが展開される他、同時に松戸市内のお店やギャラリー等でもイベントを開催しています。

REPORT
科学・芸術・自然、そして人がつながり創造的な未来を目指す新たな文化

